

2022年度インターゼミ 多摩学班
多摩圏の防災対策について
—現状と今後の展望— (仮)



学部生 田中・関沼

大学院 栗原・塩崎

大学院菊OB 菊永

担当教員 落合・新西・荻野





本日の報告内容



1. 研究テーマと背景
2. 多摩地域の対象範囲
3. 多摩圏における災害の歴史
4. 多摩圏における防災への取り組み
公助・共助・自助
5. 今後のスケジュール
6. フィールドワーク先候補
7. 参考・引用文献等

1. 研究テーマと背景

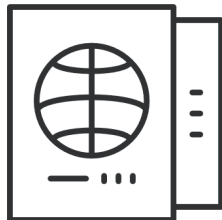
研究テーマ

多摩圏の防災対策について

—現状と今後の展望—

01

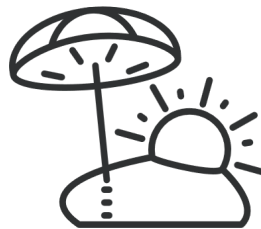
住みやすい街で、
必要な要素？



前年度は「住みよい街」というテーマで多摩地域を調べていった。今回は「安全」という観点から「防災」に絞る。

02

防災は生活の土台



近年、歴史的に類を見ない災害に見舞われており、「防災」は私達の生活の土台となっている。今後もより重要視されていくと予想される。

2. 多摩地域の対象範囲

多摩地域：一般的に東京23区と島嶼部を除いた地域をさすことが多い

※ 東京都の多摩振興対象等



多摩大学出版会の『多摩学』においては、神奈川県の一部を含む「多摩圏」を定義しており、本年度の研究においては「多摩圏」を対象として研究を進める

【本年度の研究対象地域】

多摩圏：東京都多摩地域のみならず、多摩川流域と相模川流域に挟まれた地域



【出典】多摩大学出版会 『多摩学 経営情報学から見た「多摩圏」』 p.16

3. 多摩圏における災害の歴史①（東京都西部）

	2022～1990 現代	1990～1945 昭和(戦後)	1945～1868 昭和(戦前)・大正・明治	1868～1603 江戸
水害	<p>2019:台風19号 多摩川出水 2007:台風9号 多摩川大洪水</p> <p>◇台風による川の氾濫などの甚大な被害約10件 ◇2001年以降大規模な河川改修は行われていない</p>	<p>1983:台風5・6号 多摩川被災 1974:台風16号 多摩川決壊</p> <p>◇台風による川の氾濫などの甚大な被害約9件 ◇ニュータウン化に伴う都市計画において災害(地震・水害等の計画書)作成</p>	<p>1886:多摩川洪水 1875:暴風による土砂崩れ</p> <p>◇台風による川の氾濫などの甚大な被害約23件 ◇明治大正期より河川の改修に着工</p>	<p>1858:多摩川出水 1606:多摩川大洪水</p> <p>◇台風による川の氾濫などの甚大な被害約102件</p>
地震	<p>2011:東日本大震災</p> <p>◇他県から避難者受け入れ</p>		<p>1923:関東大震災</p> <p>◇南多摩郡が東京や横浜からの罹災者受け入れ</p>	<p>1782:小田原地震</p> <p>◇記録が残っている地震 他約32件</p>
噴火				<p>1783:浅間山噴火 1707:宝永の大噴火</p> <p>◇多摩地域にも火山灰</p>

参考:パルテノン多摩、『災害と多摩』,2017,関連年表 78p～82p

3. 多摩圏における災害の歴史②（神奈川県東部）

	2022～1990 現代	1990～1945 昭和(戦後)	1945～1868 昭和(戦前)・大正・明治	1868～1603 江戸
水害	2019:台風19号 相模川出水 1999:熱帯豪雨 相模川危険水域	1974:台風10号 相模川流域浸水 1947:カスリーン台風 相模川流域複数箇所堤防決壊 ◇1957年:水系を一貫した相模川水系 改修計画の策定	1907:相模川洪水 1910:台風 ほぼ全川で破堤	1608:相模川水系(金目川)洪水 ◇10年に一度洪水が発生(記録に残って いるものだけで)→治水事業の開始
地震	2011:東日本大震災		1923:関東大震災	1782:小田原地震
噴火				1783:浅間山噴火 1707:宝永の大噴火 ◇神奈川県東部にも火山灰

参考:国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所HP「災害の記録 相模川」

噴火：浅間山の噴火（1783）



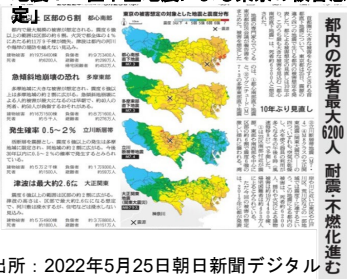
出所：東京都公文館アーカイブ

水害：台風19号の被害八王子市（2019）



出所：国土交通省 関東地方整備局

地震：「直下型地震による東京の被害想定」



首都直下地震 被害想定を縮小
都内の死者最大6200人 耐震・不燃化進む

◇東京都が首都直下型地震が起きた際の被害想定を10年ぶりに改定（2022年5月25日）

4. 多摩圏における防災への取り組み①

災害による被害を最小限に抑えるためには、自助(自分の身は自分で守る)、共助(地域で助け合う)、公助(市や消防などの公的支援)による「三助」の取り組みが重要です。



自助

- ・家庭での防災意識の向上
- ・家庭での備蓄、非常持ち出し品の準備
- ・自宅の耐震化・耐火、エネルギー対策
- ・避難経路や避難場所の確認

共助

- ・隣近所とのコミュニケーション
- ・自主防災組織の結成・育成
- ・防災訓練や研修会の実施

公助

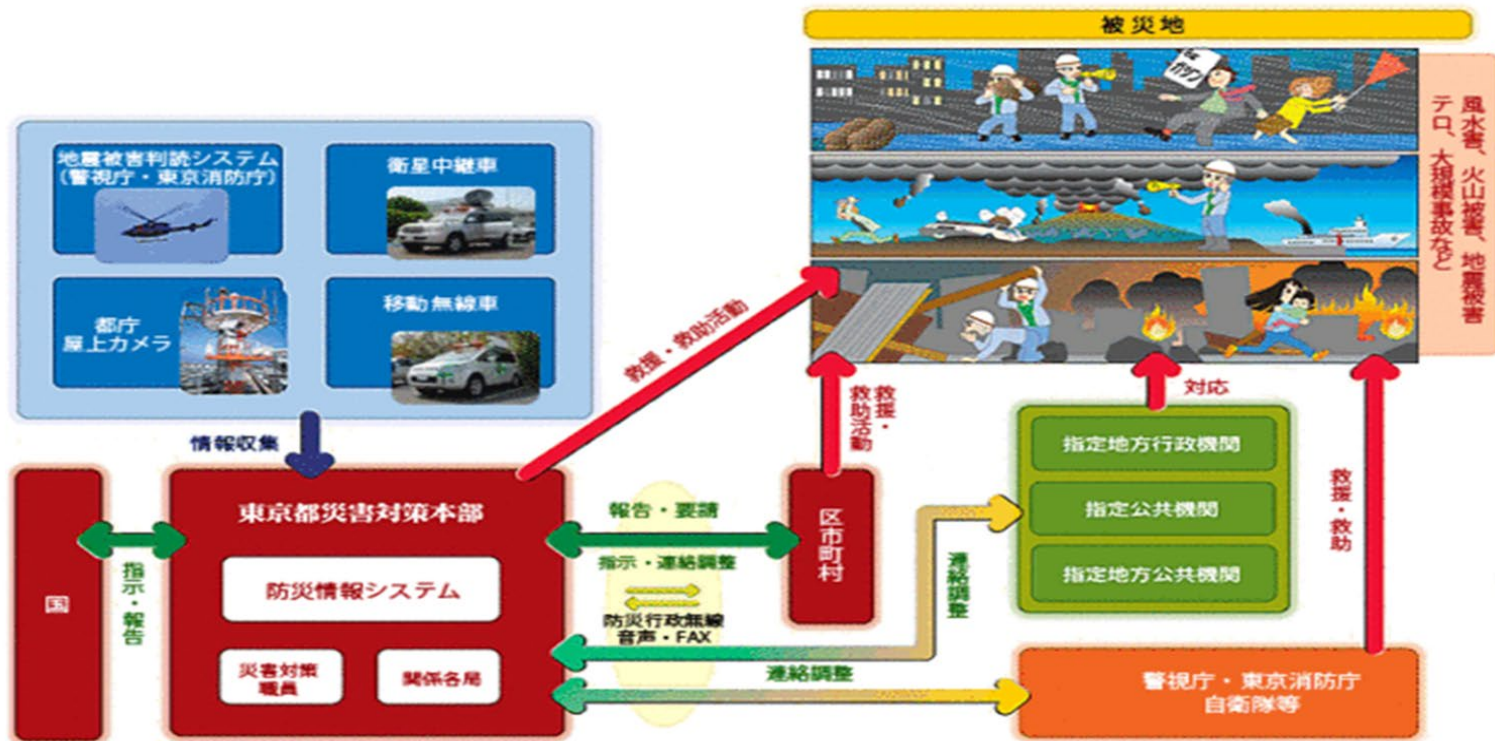
- ・避難所の指定と整備、備蓄品の整備
- ・水道管の耐震化や治水対策などの促進
- ・消防、警察、自衛隊などによる救助活動

出典：<http://obihiro-kurashibousai.com/bousai/kazokuhanashi-2/>

4. 多摩圏における防災への取り組み②（公助）

災害対策本部を中心として整備され 国、区市町村、その他の機関と連携しながら災害に対応します。

【引用】東京都防災ホームページ<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/torikumi/1000067/1000369.html>



4. 多摩圏における防災への取り組み③（公助の例）

- ・ 情報伝達機能の充実
- ・ ラジオ、メール、SNS、ホームページ等の活用
- ・ 防災行政無線の活用など
- ・ 避難所機能の充実
- ・ 備蓄品の整備、管理
- ・ 災害用井戸の整備など
- ・ 自助への支援
- ・ 出前講座やパンフレット配布による啓発など
- ・ 共助への支援
- ・ 自主防災活動への補助金交付
- ・ 出前講座による自主防災活動の啓発
- ・ 災害対応（人命救助、復旧・復興など）
- ・ 防災訓練（関係機関との連携強化）



※イラスト出典：株式会社東京法規出版
「自主防災活動パンフレット」より

4. 多摩圏における防災への取り組み④（共助）

共助：地域社会において、周囲の人々が協力して助け合うこと。



防災訓練・防災イベントの実施



防災マップの作成



マンション等での防災備蓄品の整備



救命講習の実施

4. 多摩圏における防災への取り組み⑤（共助の例）

先進的なコミュニティー

～立川市自治会連合会～

- ・多摩圏にある地域団体の中で特に**地域のつながり**を重視した取り組みを行っている団体
- ・その中でも錦町などいくつかの支部を取り上げ**フィールドワーク**や**インタビュー**を行う



出典：https://www.travel-zentech.jp/japan/tokyo/Tachikawa_City.htm

共助に活用されるツール

～株式会社コトブキ「防災ファニチャー」～

- ・パブリックスペースを地域の安心・安全の基盤とするツール「**防災ファニチャー**」
- ・このような共助に活用されるツールが、多摩圏でどのように活用されているのか調べる



出典：<https://townscape.kotobuki.co.jp/sp/bosai/index.html>

4. 多摩地域における防災への取り組み⑥（自助）



フェーズフリー

- ・多摩地域で**フェーズフリー商品**や**備蓄商品**を扱っている**企業**にフォーカスをしていく。
- ・いくつかの企業のビジネスモデルを分析し、多摩圏域の企業と**比較**していく。



出典：平型LED付きモバイルバッテリー|フェーズフリー認証 (phasefree.net)



出典：おしゃれでおいしい非常食カフェ 新宿「IZAMESHI Table」-SankeiBiz (サンケイビズ)；自分を磨く経済情報サイト



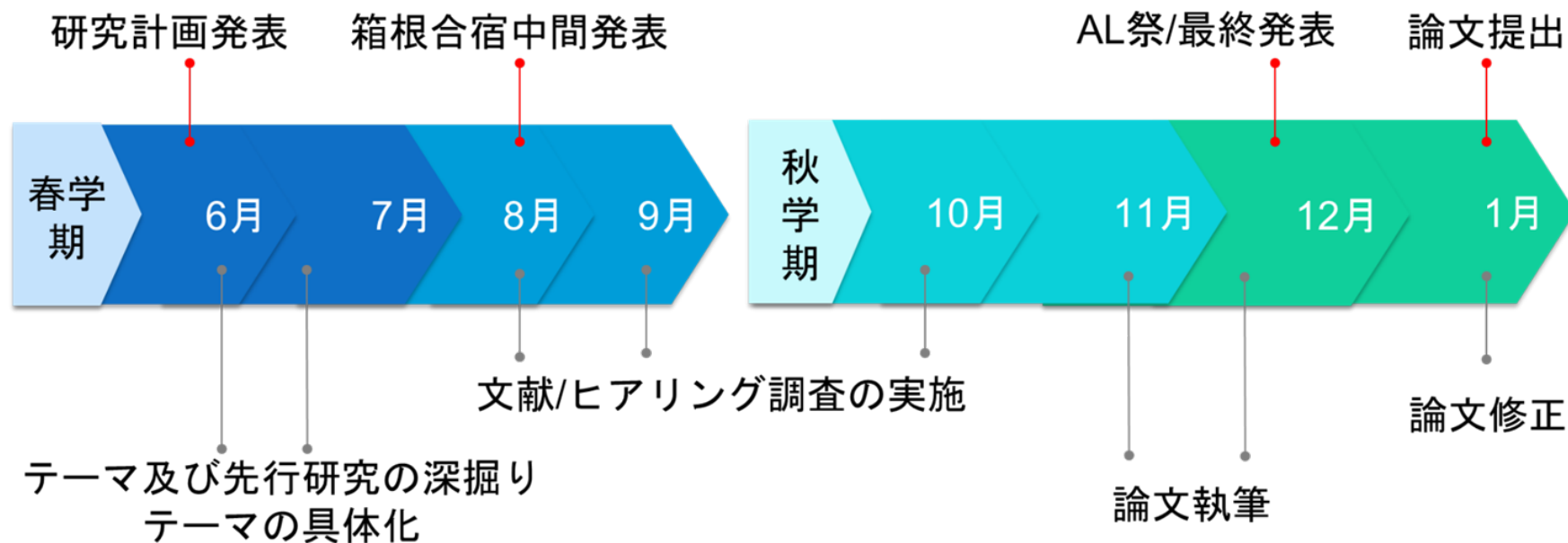
IT技術 (IoT)

- ・八王子市で行われている「**身近なIoTプロジェクト**」について調べていく。
- ・”IT技術&防災”という視点からの地域防災について書いていく。



出典：八王子防災プロジェクト|株式会社エイビット (abit.co.jp)

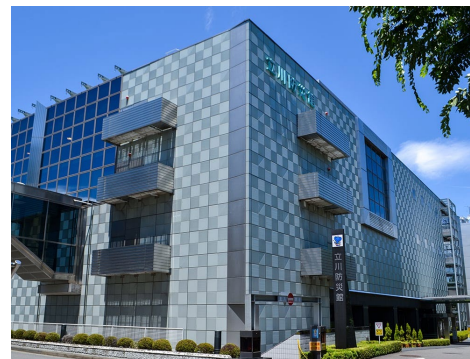
5. 今後のスケジュール



6. フィールドワーク先候補

- ①立川防災館
- ②市役所（稲城市、相模原市、多摩市等）
- ③立川市自治会連合会
- ④株式会社コトブキ
- ⑤東京大学演習林田無演習林（西東京市）
- ⑥JA東京中央

※防災に関わる人々へのインタビューにしっかりと取り組む。



出典：防災館 東京消防庁 都民防災教育センター (tokyo-bskan.jp)



出典：JA東京中央 本店 - 世田谷情報局 (setagaya-joho.com)

7. 参考・引用文献

<書籍・資料>

- [1]長島剛・野坂美穂・高橋恭寛・加藤みずき・内藤旭恵・樋笠堯士『多摩学 経営情報学から見た『多摩圏』』多摩大学出版会、2022年。
- [2]パルテノン多摩歴史ミュージアム『特別展災害と多摩 多摩丘陵の自然災害と多摩ニュータウン開発』公益財団法人多摩市文化振興財団、2017年。

<WEB>

- [1]東京都防災ホームページ「東京都の防災体制」<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/torikumi/1000067/1000369.html>
(2022年5月27日閲覧)。
- [2]伊藤忠商事株式会社 繊維経営企画部「災害大国ニッポンの防災ビジネス」、繊維月報 vol.719、2020/03、https://www.itochu.co.jp/ja/business/textile/geppo/202003/geppo_vol719.pdf (2022年05月28日閲覧)。
- [3]ABITホームページ「八王子防災プロジェクト」<https://www.abit.co.jp/products/hachibo/> (2022年05月28日閲覧)。
- [4]立川市自治会連合会「自治会について知ってみよう！」(2022年5月31日閲覧)。
- [5]国土交通省関東地方整備局「台風第19号に伴う「出水概要」」<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00229.html> (2022年05月30日閲覧)。
- [6]国立公文書館デジタルアーカイブ「浅間山焼」<https://www.digital.archives.go.jp/DAS/pickup/view/category/categoryArchives/0200000000/0202070000/01>
(2022年05月30日閲覧)。

<その他>

- [1]TOKYO MX「東京・多摩地域で新たな水害対策」、2017年8月16日、<https://s.mxtv.jp/mxnews/kiji.html?date=46512075> (2022年05月28日閲覧)。